

新生! 合唱団フォンス・フローリス

第5回コンサート・スピリチュエル Chœur Fons Floris Concert Spirituel

フランス・バロック の 宗教音楽

ジャン＝フィリップ・ラモー「主が連れ帰ってくださったとき」

Jean-Philippe Rameau (1683-1764), *In convertendo Dominus*

アンドレ・カンプラ レクイエム

André Campra (1660-1744), *Requiem*

2012年7月16日(月・祝) 午後2時(1時30分開場)

上野学園 石橋メモリアルホール

〈独唱と器楽〉古楽アンサンブル「コントラポント」

ソプラノ dessus 花井尚美 アルト haute-contre 中嶋克彦
テノール taille 根岸一郎 バス basse 春日保人

ヴァイオリン・ヴィオラ 小野萬里 大西律子 本多洋子 丹沢広樹
violons 阿部まりこ 上田美佐子 小池吾郎

バス・ヴィオロン basses de violon 高橋弘治 西澤央子 ヴィオローネ violone 諸岡典経
トラベルソ flûtes traversières 国枝俊太郎 菊池香苗 オーボエ hautbois 尾崎温子 森綾香
ファゴット basson 鈴木禎 テオルボ théorbe 金子浩 オルガン orgue 上尾直毅

〈合唱〉合唱団フォンス・フローリス 〈指揮〉花井哲郎

前売¥3,000 当日¥3,500 学生¥2,000*

全自由席 *学生券は、学生証を提示のうえお求めください

前売取扱

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650
(セブン-イレブンでの引き取り可能)

東京古典楽器センター 03-3952-5515

スペース・セント・ポール 03-3941-4971

サンパウロ(四谷駅前) 03-3357-8642

問い合わせ 窪田 (9~21時)

phone/fax 04-7140-7225 mobile 080-5099-3751

Email m-kubota@fonsfloris.com

主催:フォンス・フローリス 合唱団フォンス・フローリス

オペラや室内楽作品で有名なラモーに、実は宗教音楽の傑作があったことはあまり知られていないかもしれません。「主が連れ帰ってくださったとき」In convertendo Dominus は詩編の言葉を、独唱、合唱、管弦楽で劇的に表現した素晴らしい作品です。オペラの一場面を思わせるようなアリアがあるかと思えば、バッハにも比肩する対位法的な合唱もあります。カンプラのレクイエムは、言わずと知れたフランス・バロックを代表する死者のためのミサ曲です。18世紀パリでもとても人気のあった作品で、優美な叙情に溢れています。

合唱団フォンス・フローリス Chœur Fons Floris

フランス・バロックの宗教音楽を専門とする合唱団。フォンス・フローリス古楽院の受講生、また花井哲郎指導団体が中心となって、2006年にプロジェクト合唱団として発足、2011年より独立した合唱団として再スタートした。東京と関西でそれぞれ練習を進め、合同で演奏会を開催する。フランス語的なラテン語発音、イネガルや装飾法など、フランス・バロックに固有の演奏法にこだわって練習に励んでいる。今まで、シャルパンティエ、リュリ、ド・ラランドらの、主にグラン・モテ（大規模宗教作品）を演奏してきている。
ホームページ <http://www.fonsfloris.com/choeur/>

古楽アンサンブル「コントラポント」Contraponto

花井哲郎をリーダーとして2005年に結成された古楽声楽家、古楽器奏者によるアンサンブル。主に17世紀を中心とした後期ルネサンスからバロックの宗教音楽をレパートリーとする。声楽家と楽器奏者が音そのものに対するイメージを共有し、各自の独創性を生かしながらも「対位的に」一体となった演奏を目指している。プログラムにより各パート一人ずつのアンサンブルから、バロック・オーケストラと独唱・合唱という形態まで、作品と時代様式にふさわしい編成をとる。

これまで自主公演のほか、目白バロック音楽祭、NECレクチャーコンサートなどに出演、モンテヴェルディを中心としたイタリア初期バロック、シャルパンティエやド・ラランドなどフランス・バロック、シュッツを始めた17世紀ドイツの3大S、スペインのピリヤンシーゴ、南米バロック時代のイエズス会宣教師の音楽などを手がけてきている。

ホームページ <http://www.fonsfloris.com/c/>

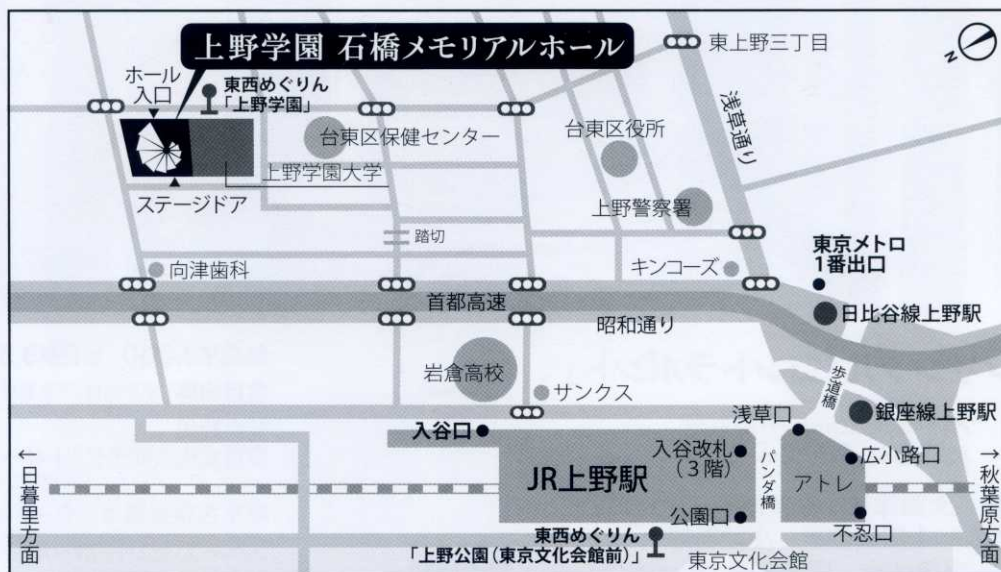
花井 哲郎 Tetsuro Hanai (指揮・指導)

早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業。アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。またブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。滞欧中教会音楽家、合唱指揮者、また鍵盤楽器奏者として活動し、またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事する。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」を創設、以来ルネサンス・バロックの宗教作品の演奏を続ける。

また古楽をレパートリーとするアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、様々な講習会や講座の講師を務め、グレゴリオ聖歌、ルネサンス・バロックの宗教音楽の演奏と普及活動を行う。古楽アンサンブル「コントラポント」リーダー、フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。本年4月よりNHK-FM『ピバ! 合唱』の案内人を担当。



第一回コンサート・スピリチュエル 2006年9月東京カテドラルにて



上野学園 石橋メモリアルホール (〒110-8642東京都台東区東上野4-24-12学校法人上野学園内)

JR各線「上野駅」 入谷改札より入口から 徒歩8分/東京メトロ・日比谷線/銀座線「上野駅」 1番出口より徒歩8分

※駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。